

算数 1次 正答率・講評

問題		正答率 (%)		講評
		受験者	合格者	
【1】	(1)	97.1	98.6	例年通り、大問1は四則演算を含む小問集合6題の出題であった。 (3)(4)の正答率が低くなった。(3)は整数の問題、(4)は仕事算の問題だった。特に(3)では何を問われているのかしっかり把握したい。合格のためには大問1はミスなく得点したい。
	(2)	89.4	94.6	
	(3)	44.1	52.7	
	(4)	59.4	82.4	
	(5)	80.0	90.5	
	(6)	82.4	90.5	
【2】	(1)	48.8	70.3	「最も高いパンと2番目に高いパンの金額の合計」と「2番目、3番目に高いパンの合計」が明らかになる(安いものも同様)ことに注目するのがポイント。合格者平均点と受験者平均点の差が最も大きく、差がついた問題であった。
	(2)	45.3	63.5	
【3】	(1)	40.0	59.5	平面図形の問題。やや計算量が多く煩雑な部分はあるが、全体的に標準的な問題であり考えることはシンプルである。比を逆に答えるなどケアレスミスも散見された。しっかり解ききりたい。
	(2)	42.9	60.8	
【4】	(1)	70.6	85.1	ニュートン算の標準的な問題。ニュートン算自体複雑であるが、正答率7割を越えており、よくできていた。
	(2)	71.8	89.2	
【5】	(1)	18.9	27.6	切断した三角柱に関する立体図形の問題。 図に描かれていない部分を、文章から読み取り再現できるかがポイント。三角形AQPが直角三角形だと思い込んでいる答案が目立った。思い込みは禁物である。
	(2)	8.8	11.0	
【6】	(1)	40.9	55.7	電動自転車のバッテリー消費から距離を求める問題。 (1)は典型的な問題であり、基本にしたがって計算すればよい。 (2)は3種類のモードをすべて考える必要があるため、丁寧な計算が必要になる。距離の比をうまく利用できるかどうかのポイント。
	(2)	3.5	5.3	

算数特選 正答率・講評

問題	正答率 (%)		講評	
		受験者		合格者
【1】	(1)	66.9	84.8	やりとり算の問題。やりとりごとの枚数の推移をきちんと書き出せるかがポイント。概ねよくできていた。
	(2)	46.7	66.7	
【2】	(1)	59.0	81.5	ルービックキューブを切断する立体図形の問題。文章量が多く、設定や問われていることをきちんと把握できるかがポイント。把握さえできれば難しくない。
	(2)	44.1	62.6	
【3】	(1)	88.9	97.1	ニュートン算の問題。1次試験もそうであったが、ニュートン算の正答率が高い傾向にある。ニュートン算の定番問題であったとはいえ、しっかり解ききる受験生が多かった。
	(2)	74.7	89.2	
【4】	(1)	65.0	77.5	2進法、規則性がテーマの基石を並べる問題。(2)は題意を汲み取り、規則性を見出せるかがポイント。正答率がかなり低く、結果的に合否には影響がなかった。
	(2)	7.7	12.5	
【5】	(1)	70.9	80.0	問題の文章とグラフから状況を読み取っていく旅人算の問題。グラフが2人の距離の差と時間の関係になっており、兄が歩いた30分がグラフのどの地点を表すかを読み取れば(1)は簡単。 (2)も気を付けて計算をしていけば解答できるが、弟が最初1200m進んでいることを忘れてしまった解答が目立った。(2)まで出来た生徒は合格したのではないか。
	(2)	50.4	70.0	
【6】	(1)	68.4	87.4	動点における線分の長さに関する問題。(1)は線分の長さの変化を比を用いて求める問題。数値のミスや書き忘れが一部あったものの、全体的によくできていた。 (2)は線分の長さの変化の様子を考える問題。②を選んだ誤答が多かった。また、正解である③を選べていても、③である理由や①ではない理由が不十分な解答が目立った。
	(2)	41.3	62.3	

算数 2次 正答率・講評

問題		正答率 (%)		講評
		受験者	合格者	
【1】	(1)	77.7	85.9	例年通り、四則演算を含む小問集合 6 題の出題であった。 (4)、(6)の正答率が低くなった。(4)は樹形図で書き出す問題。各硬貨が6枚ずつしかないという条件を忘れていたミスが目立った。 (6)は三角形BCDと三角形BFGの面積が等しいことに気づけるかがポイント。
	(2)	85.7	92.2	
	(3)	93.7	98.0	
	(4)	50.3	60.5	
	(5)	61.0	70.2	
	(6)	31.9	41.0	
【2】	(1)	78.8	90.7	規則性に関する基本的な問題。定番問題であり、合格のためには取りこぼしは避けたい。
	(2)	59.1	73.7	
【3】	(1)	63.5	73.1	つるかめ算の応用問題。(2)は1日あたりの買い足す量を問われているが、1週間あたりの量を答えてしまう誤答が目立った。条件や求める事柄をしっかりと整理する習慣をつけておきたい。
	(2)	33.5	45.9	
【4】	(1)	55.2	65.9	正方形の内部を2円が移動するとき、一方の円が通過する部分のうち他方の円が通過しない部分の面積を求める問題。該当部分をきちんと図に描くことができるかがポイント。シンプルだが、2円の軌跡を細部まで正確に把握する必要がある。
	(2)	37.9	48.8	
【5】	(1)	36.1	48.4	一定の割合でずれていく時計の問題。 (1)は問題文から時計のずれの割合を求め、冷静に計算することが出ている受験生は、概ね正答にたどり着いていた。 (2)は(1)から時計が11時台にも条件を満たすことが重要である。 また、(1)では本当の時刻から時計がさす時間を求めるが、(2)では時計から本当の時刻を求めることになるので注意が必要である。
	(2)	4.1	6.8	
【6】	(1)	43.4	54.6	立方体を切断したときに出来る立体の表面積を求める問題。 (1)は立体そのものの表面積を計算するか、または立方体の全表面積から切断する立体の表面積を引いて求めるかである。ほとんどの受験生が取り組んでおり、正答率も高かった。 (2)は(1)からの流れで求めればよい。ただし立体は把握できても正確に表面積を計算し最後の答えまでたどり着いた受験生は少なかった。
	(2)	19.2	27.5	

算数 3次 正答率・講評

問題		正答率 (%)		講評
		受験者	合格者	
【1】	(1)	60.4	78.0	例年通り、四則演算を含む小問集合 6 題の出題であった。例年は各設問で正答率が9 割を超えるが、今回は正答率がかなり低くなった。どの問題も特に解きにくいものやひねったものはなく、シンプルな問題であり、確実に得点したい。
	(2)	50.2	70.0	
	(3)	40.6	56.0	
	(4)	86.5	96.0	
	(5)	72.5	90.0	
	(6)	33.8	52.0	
【2】	(1)	84.5	90.0	回転体の体積の問題。典型的な問題で易しいが、その割には (2) の正答率が低い。
	(2)	53.1	86.0	
【3】	(1)	55.1	64.0	流水算の標準的な問題。(1) では比を逆にしてしまう誤答が目立った。
	(2)	24.6	50.0	
【4】	(1)	6.3	18.0	平面図形の面積を求める問題。補助線を引き、相似を利用して求める。考え方や計算にやや複雑な部分があり、苦戦する受験生が多かった。
	(2)	5.8	18.0	
【5】	(1)	81.8	90.0	(1)食塩水の定番問題。全体的に良くできていました。得点できなかった答えは計算ミスによるものが多かった。 (2)全体で何gの食塩水ができるかを把握すれば求められる問題である。食塩水の重さと濃度の関係を面積図で示し、イとウの食塩水の和と差を見つけることができるか、できないかで得点に差がついた。
	(2)	10.3	17.8	
【6】	(1)	19.8	52.6	3人の旅人算の問題。(1)は、1回目から2回目までが16分だが、初めから16分というように読み間違えている誤答が目立った。 (2)でも、Cが出発する時間を勘違いしたり、交差点からポストまでの距離の計算を間違えている解答が目立った。計算自体は複雑ではないが、問題文が長く、情報を正確に読み取れるかが得点できるかのカギになっている。
	(2)	5.9	18.6	